

令和4年度

事業報告書

松波の里

目 次

1. 寄 附	1
2. 施設入所支援	2
2-1 利用者の状況	2
2-2 利用者の動向	4
2-3 利用実績	4
3. 生活介護	4
3-1 通所利用者の状況	4
3-2 利用実績	5
3-3 日中活動	5
3-4 保健衛生	7
3-5 行 事	9
3-6 外 出	10
3-7 自治会活動	11
4. 短期入所・日中一時支援	12
4-1 利用者の状況	12
4-2 利用実績	13
5. 給 食	14
6. 防災・防犯	17
6-1 災害防護訓練	17
6-2 防犯対策	17
7. 職員の配置状況	18
8. 職員研修	18
9. ボランティアの受け入れ	20
10. 視察・研修・慰問の受け入れ	21
11. 実習の受け入れ	21
12. 保護者会活動	21
13. 苦情相談	21
14. 事業計画等に対する評価	22

令和4年度 事業報告

開設41年目を迎えた松波の里は、利用者主体の支援を念頭に、運営方針である「利用者の笑顔の絶えることのない、明るい施設」を根幹に各事業を行った。

施設入所支援では、令和4年度末で40名のご利用をいただいている。障害支援区分5及び6の利用者が38名、65歳以上の利用者が12名となった。障害の重度化、高齢化が顕著になっており、多様な支援が求められている。施設の老朽化や職員数の減少により、利用者の安全で快適な暮らしを支えるため、支援方法や環境調整等の工夫が課題となっている。

高齢化により身体機能が低下した利用者については、ご本人やご家族の意向を確認しながら、介護保険への移行がスムーズに行われるように相談支援専門員と連携している。今年度は男性利用者1名が介護認定の申請を行った。

また、今年度は12月末から1月にかけての風邪の流行と、3月に2回目の新型コロナウイルスの集団感染が発生した。利用者の生命を守るため法人事業所一丸となって収束までのひと月を乗り越えた。今後も目に見えないウイルスの脅威と共存していかなければならない現実を受け止め、感染予防の重要性を再認識するとともに適切な対応で感染拡大に努めていく必要がある。

令和5年1月に利用者が40名となり、令和5年度に向け施設入所及び生活介護の定員を40名に変更するよう調整を行った。

以下、令和4年度の事業を報告する。

1. 寄附

①寄附金

年 月 日	寄 附 者	金 額
令和4年12月22日	株式会社 マルイ (代表取締役社長 清水 辰雄 様)	100,000円
令和5年 2月21日	利用者ご家族	30,000円
計	2件	130,000円

2. 施設入所支援

定員50名のところ、令和4年度は男性利用者ご逝去による2名の退所、特別養護老人ホームへの移行のため女性利用者1名の退所、また、長期の短期入所利用から男性利用者1名の入所があり、令和4年度末で40名のご利用をいただいている。

利用者状況は、65歳以上の利用者が12名である。年齢と共に心身機能の低下した利用者も増え、誤嚥、転倒等のリスクも高まり、支援態勢の見直しやリスクマネジメント会議等を通し、個々の利用者に応じた支援と食事形態等の見直しを随時行っている。コロナ禍にあって感染防止対策の徹底を図りながら、業務内容の見直し、3密を回避した活動方法に配慮しながらの1年であった。介護保険の要介護認定を受けている方は4名、そのうち特別養護老人ホーム待機者は2名である。

2-1 利用者の状況（令和5年3月31日現在）

① 出身市町村別人数 入所

市町村	柏崎市	刈羽村	出雲崎町	上越市	新潟市	計(名)
男性	18	1		1	2	22
女性	15	1	1	1		18
計	33	2	1	2	2	40

② 年齢別人数および平均年齢 入所

年齢	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~	計(名)
男性		1		1	2	2	3		1	6	6	22
女性			1		4		2	1		4	6	18
計		1	1	1	6	2	5	1	1	10	12	40
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢			全体平均年齢		
男性	74歳10か月			24歳2か月			55歳0か月			55歳3か月		
女性	74歳11か月			26歳3か月			55歳7か月					

③ 障害支援区分別人数

区分	4	5	6	計(名)
男性	2	10	10	24
女性		4	14	18
計	2	14	24	40

④ 療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
男性	18	4	22
女性	17	1	18
計	35	5	40

⑤ 身体障害の状況(身体障害者手帳所持者)

	視覚	聴覚	言語	体幹	肢体不自由	心機能障害	計(名)
男性		2	3	1	2	1	9
女性		1	1		1		3
計		3	4	1	3	1	12

⑥ てんかんおよび精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
男性	8	3	1	12
女性	9		1	10
計	17	3	2	22

⑦ 成年後見制度利用者数

	家族後見	第三者後見	計(名)
男性	3	5	8
女性	3	1	4
計	6	6	12

⑧ 介護保険関係

	特養等待機者	要介護区分認定者	
		要介護4	要介護5
男性	0	1	1
女性	2	1	1
計	2	4	

2-2 利用者の動向

- ・令和4年 5月13日 女性利用者（74歳）1名 退所（特別養護老人ホームへの移行）
- ・令和4年 7月 1日 男性利用者（34歳）1名 入所
- ・令和4年11月 2日 男性利用者（75歳）1名 退所（救急搬送にて死亡）
- ・令和4年 1月 7日 男性利用者（74歳）1名 退所（入院先の医療センターにて死亡）

2-3 利用実績（年間）

定員（人）	実人員（人）	年間営業日（日）	利用可能者数（人・日）	延べ利用者数（人・日）	利用率（%）	平均利用者数（人/日）	
50	43	365	18,250	14,735	80.7	40.4	
昨年度	50	43	365	18,250	15,184	83.2	41.6

3. 生活介護

通所生活介護については、1名の方が定期的なご利用を継続され、7月1日より入所に至る。また、新規で1名ご利用があり、施設入所の利用者と合わせ、41名のご利用をいただいた。日中活動として他の生活介護事業所を6名が利用している。

生活介護においても感染防止対策を徹底し、利用者の体調管理を行いながら3密を避けた活動方法を検討し、実践した。

令和4年度もコロナ禍にあり、予定されていた行事が中止や縮小される中で、日々の生活を安全に楽しんでいただけるよう職員で知恵を出し合い、行事の内容を工夫した。

通所生活介護の利用者においては、柏崎保健所管内で新型コロナウイルスの感染者が発生した際や施設内の新型コロナウイルス感染症が収束するまでは、利用の自粛をお願いすることがあった。

3-1 通所利用者の状況（令和5年3月31日現在）

① 出身市町村別人数

柏崎市のみ 女性 1名

② 年齢別人数および平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計（名）
女性									1			1

③ 障害支援区分別人数

区分	1	2	3	4	5	6	計（名）
女性			1				1

④ 療育手帳所持者

種類	A	B	計（名）
女性	1		1

⑤ 身体障害の状況（身体障害者手帳所持者）

身体障害者手帳 所持者なし

⑥ てんかん及び精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計（名）
女性	1			1

3-2 利用実績（年間）

定員（人）	実人員（人）	年間営業日（日）	利用可能者数（人・日）	延べ利用者数（人・日）	利用率（%）	平均利用者数（人/日）
50	44	269	13,450	14,555	92.4	39.9
昨年度	50	44	269	13,450	89.6	41.1

3-3 日中活動

利用者個々のニーズに合った活動を提供し、日中活動の場として、日々の生活において潤いと生きがいを感じることを目標として下記の活動内容を提示した。日中活動の際には、新型コロナウイルス等の感染防止対策を行いながら、安全に活動できるように配慮した。夕方の時間を利用して、利用者の余暇支援を取り入れながら午後の小グループ活動を実施した。

①運動班

歩行や身体を動かすことで個々の身体機能の維持と情緒の安定を図った。体育館での歩行活動は歩行速度や運動量に応じてグループ分けを行い支援を実施した。冬期間は防寒や3密回避のため、廊下を利用した歩行や室内でできる運動メニューを提供することができた。活動時はマスクの装着を働きかけ、感染防止に努めた。また、高齢の利用者を中心にリハビリに関するDVDやテレビ体操を取り入れ、身体機能の維持に努めた。

②創作班

利用者の興味や適性、季節に合わせ様々な活動を提供した。作業室が密にならないようにレイアウトを工夫し、BGMを取り入れるなどして利用者が楽しんで活動できる環境作りに取り組んだ。12月にアルフォーレで開催された「かしわざきギャラリー」や柏崎信用金庫、フォンジェ内の「みにころ」で利用者の作品を展示することができた。

☆じよんのびの日・誕生会

毎月1回、午前「じよんのびの日」とし、職員の企画、運営によるレクリエーション、ゲーム等で利用者が楽しめる活動を提供した。午後は当該誕生月の利用者へプレゼントを渡し、おやつにケーキを食べてお祝いした。

コロナ禍にあって、じよんのびの日の活動内容や誕生会の進行方法は3密を避けたものに変更しながら工夫して実施した。3月は新型コロナウイルスの感染があったため中止した。

月	活 動 内 容	月	活 動 内 容
4	春の装飾で写真撮影	10	紅葉樹装飾の制作
5	紫陽花（塗り絵）装飾の制作	11	おひさまデパート（衣料品の購入）
6	誰の声・曲あてゲーム	12	クリスマスツリー装飾の制作
7	マイクロバスドライブ・DVD鑑賞	1	書き初め（ペン習字）
8	ひまわり装飾の制作	2	桜の木装飾の制作
9	松波の里まつり（塗り絵）装飾の制作	3	新型コロナウイルス感染症に伴い中止

3-4 保健衛生

① 検診・予防接種

年月日	項目	人数	内容
令和4年 5月 9日 ～27日	大腸がん検診	28	稲田医院
6月21日	健康診断（1回目）	41	労働衛生医学協会
6月24日	前立腺がん検診	1	稲田医院
6月30日	前立腺がん検診	9	柏崎市検診
6月30日	乳がん検診	8	柏崎市検診
7月 6日	子宮頸がん検診	2	柏崎市 施設検診（宮尾医院）
7月28日	新型コロナウイルス ワクチン予防接種④	38	嘱託医往診（関病院）
9月 5日	新型コロナウイルス ワクチン予防接種①	1	中沢消化器内科
9月24日	新型コロナウイルス ワクチン予防接種④	2	厚生病院
9月26日	新型コロナウイルス ワクチン予防接種②	1	中沢消化器内科
10月20日	歯科検診	42	嘱託医往診（せきや歯科）
11月 8日	インフルエンザ予防接種 健康診断（2回目）	40 41	嘱託医往診（高木医院）
12月 1日	新型コロナウイルス オミクロンワクチン予防接種①	37	嘱託医往診（関病院）
12月26日	新型コロナウイルス オミクロンワクチン予防接種①	2	中沢消化器内科
令和5年 1月24日	新型コロナウイルス オミクロンワクチン予防接種①	1	さとう内科クリニック

② 入院

性別	年齢	医療機関	病名	期間
男性	63	新潟病院	脳梗塞	令和4年5月 2日～ 6月17日
男性	75	柏崎総合医療センター	誤嚥性肺炎	6月13日～ 6月16日
男性	75	新潟病院	心不全・死亡	11月 2日
男性	70	柏崎中央病院	腸閉塞	令和4年12月 2日～ 令和5年 3月 6日
男性	68	柏崎総合医療センター	尿路感染	12月 2日～12月31日
男性	74	柏崎総合医療センター	出血性膀胱炎・死亡	令和5年 1月 6日

女性	68	柏崎総合医療センター	両眼白内障	2月21日～ 2月22日
男性	64	柏崎総合医療センター	尿路感染	2月24日～ 3月9日

③ 通院

※昨年度

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計(名)	
精神	男	13	8	15	5	12	14	13	21	11	13	8	17	150	248
	女	6	9	6	7	13	8	8	8	7	8	9	9	98	※266
内科	男	5	7	4	5	6	3	3	12	10	4	3	1	63	131
	女	5	4	2	5	2	6	9	2	10	12	4	7	68	※111
外科	男	1							2					3	4
	女	1												1	※21
整形	男		1						3	1	1			6	14
	女	2	2						1	1	1		1	8	※9
歯科	男	3	2	9	6	1	1		8		3	7	3	43	67
	女		4	5	3		4	2	1		1	2	2	24	※62
眼科	男		1				1		1			1		4	11
	女							2	1		1	2	1	7	※6
耳鼻科	男						1	2	2					5	7
	女	1	1									1		2	※2
皮膚科	男	2	3	2	2	2	1	3	4	1	1	1		22	36
	女		2			1		1	3		1	2	4	14	※30
その他	男	3	2	2		1	2	1	1	1	1	3	1	18	39
	女	2	2	1		2	2	4	4	1	1	1	1	21	※33
合計	男	27	24	32	18	22	23	22	54	24	23	23	22	314	557
	女	17	24	14	15	18	20	26	20	19	25	20	25	243	※540

- 注 1, 内科には神経内科が含まれる。
 2, 外科には脳神経外科が含まれる。
 3, その他には小児科、婦人科、泌尿器科、リハビリ科、放射線科が含まれる。
 4, 救急外来は次の受診の科に含まれる。

高齢化がもたらす要因と考えられる疾病の受診・入院が増加している。身体面や食事面への影響が大きく、医療機関や関係機関との連携をとった。

3-5 行事

施設での生活に潤いと安らぎを与え、季節感が持てるように行事を計画した。今年度は県内の感染症状況を踏まえ、日程を調整しながら利用者の皆さんが楽しみにされている日帰り旅行を実施できた。

☆園内行事

月	日	曜日	行 事	内 容
4	25	月	お楽しみ外出①	ドライブ、テイクアウト昼食、おやつくじ引き 利用者14名 職員 7名
5	12	木	お楽しみ外出②	ドライブ、テイクアウト昼食、おやつくじ引き 利用者14名 職員 7名
	17	火	お楽しみ外出③	ドライブ、テイクアウト昼食、おやつくじ引き 利用者15名 職員 7名
6	14	火	えんま市（園内）	14日 バスドライブ 利用者22名 職員7名
	15	水		15日 園内えんま市お祭りイベント （ジュース、饅頭、えんま堂、くじ引き）
	16	木		利用者40名 職員11名 16日 バスドライブ 利用者17名 職員5名
7	21	木	日帰り旅行① 弥彦温泉・弥彦神社	利用者 7名 職員 5名
8	16	火	納涼会	AM：縁日すくい、スイカ割り、花火、カラオケ PM：盆踊り大会 利用者37名 職員11名
9	27	火	日帰り旅行② 蓬平温泉	利用者 7名 職員 4名
10	18	月	松波の里まつり	AM：開設40周年記念式典、記念撮影 PM：抽選会、40年思い出写真スライドショー 選択おやつ：コーヒーフロート・コーラフロート 利用者39名 職員16名
	27	木	日帰り旅行③ 寺泊温泉・寺泊水族館	利用者 7名 職員 5名
11	8	水	日帰り旅行④ 蓬平温泉	利用者 5名 職員 4名
12	8	木	日帰り温泉⑤ 寺泊温泉	利用者 7名 職員 5名

月	日	曜日	行事	内 容
12	23	金	クリスマス忘年会	じゃんけん大会、年賀状書き、プレゼント配布、 1年思い出写真スライドショー おやつ：ケーキ、シャンメリー 利用者41名 職員11名
1	17	火	新年会	初詣、絵馬作成、おみくじ、顔出しパネル撮影 福笑い、おやつ：ドームケーキ 利用者42名 職員13名
2	3	金	節分	AM:鬼退治イベント 昼食：節分メニュー おやつ：白玉フルーツあんみつ 利用者40名 職員12名
3	3	金	ひなまつり	ひな人形輪投げ、顔出しパネル撮影 おやつ：練り切り 利用者40名 職員11名

☆地域交流及び招待行事

今年度は実施なし

3-6 外 出

新型コロナウイルスの流行で外出の実施回数は減少傾向であったが、状況をみながら機会をの確保に努めた。感染症対策に伴い、従来のような外出が思うように出来ない状況であったため、外出に替わるメニューとして「希望おやつの日」の実施も定着してきている。

① 希望外出

利用者/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回 数	3	4	12	3		2	3	1	1		5	1	35
人 数	14	16	20	11		2	3	1	8	1	5	1	81

② 希望おやつの日

利用者/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回 数	33	24	31	29	46	35	27	37	25	16	31	14	348
人 数	47	46	44	35	60	53	46	69	41	30	6	15	492

③ 自由外出

実施なし。※コロナ禍で実施経験が薄れ、職員同行にて希望外出としての実施に変更。

④ グループ外出

実施なし

⑤ 昼付き外出

利用者の希望に応じた食事等をテイクアウトし、園内で飲食するスタイルで実施した。

月	6	7	計
回数	7	7	14
人数	15	12	27

3-7 自治会活動

話し合いの場を毎月1回提供し、支援課職員と栄養士が参加した。食事の希望調査や毎月の行事予定等、利用者の興味、関心の高い内容について、要望を聴取し、周知するように努めた。今年度も地域のクリーンデーや3施設合同での清掃活動が中止になったため、自治会役員を中心に地域の清掃活動を6月と9月に実施した。

① 組織

利用者の代表によって運営される自治会役員会の組織は、次のとおりである。

役員	人数	役割
会長	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者を代表する。 ・役員会の準備および司会進行を行う。
副会長	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・会長を補佐する。 ・誕生会において、進行を担当する。 ・利用者と職員の誕生日を発表する。
食事係	3名	<ul style="list-style-type: none"> ・台ふきんやおしぼり等の洗濯や補充を行う。
環境係	2名	<ul style="list-style-type: none"> ・朝・夕とデイルームのカーテンの開閉をする。 ・体育館清掃を主となって行う。(月1回)

② ボランティア活動

自治会の役員を中心に、地域の清掃活動に取り組んだ。

年 月 日	内 容	利用者	職 員
令和4年6月27日	松波の里～荒浜小学校周辺のゴミ拾い	3	1
令和4年9月30日	松波の里～荒浜小学校周辺のゴミ拾い	2	1

② 選挙への投票

選挙の告示の周知に努め、利用者の自発的な投票を支援した。

- ・新潟県知事選挙 令和4年 5月29日(日) 利用者3名 職員1名同行
- ・衆議院議員選挙 令和4年 7月10日(日) 利用者8名 職員1名同行

4. 短期入所・日中一時支援

利用者やご家族の状況に応じて、受け入れを行った。今年度はご家族の事情で緊急的な短期入所の受け入れを実施している。

4-1 利用者の状況 (令和5年3月31日現在)

① 出身市町村別人数

市町村	柏崎市	刈羽村	計(名)
女性	2	1	3

② 年齢別人数及び平均年齢

年齢	～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～	計(名)
女性				1	1				1			3
年齢	最高年齢			最少年齢			平均年齢				全体平均年齢	
女性	55歳8か月			33歳11か月			43歳0か月					

③ 障害支援区分別人数

区分	1	2	3	4	5	6	計(名)
女性			2		1		3

④ 療育手帳所持者

種類	A	B	計(名)
女性	1	1	2

⑤ てんかん及び精神障害の症状

症状	てんかん	自閉症スペクトラム	統合失調症	計(名)
女性		1		1

4-2 利用実績(年間)

① 短期入所

定員(人)	実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数(人・日)	延べ利用者数(人・日)	利用率(%)	平均利用者数(人/日)	
2	4	365	730	180	24.6	0.4	
昨年度	2	4	365	730	297	40.6	0.8

② 日中一時支援

定員(人)	実人員(人)	年間営業日(日)	利用可能者数(人・日)	延べ利用者数(人・日)	利用率(%)	平均利用者数(人/日)	
2	0	365	730	0	0	0	
昨年度	2	1	365	730	9	1.2	0.02

5. 給食

今年度は、みんなの日曜日、アイスの日、味ごよみメニュー、すまいるデザートを実施した。様々なイベントを通して、食事への楽しみを増やすことができた。

1月雪害時には備蓄食を活用し、連携して対処することができた。

栄養ケアマネジメント会議では、食事内容について見直しを行った。多職種で連携し、利用者1人1人の身体状況に合わせた食事を提供することができた。

感染症が疑われる症状(発熱、嘔吐等)がある場合は、使い捨て食器を活用した。

① 給与栄養量(年報)

栄養素 (単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	炭水化物(g)		カルシウム (mg)
					食物繊維 (g)	
数値	1.894	71.2	50.4	286.5	17.0	646
栄養素 (単位)	鉄 (mg)	ビタミンA (μ gRAE)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食塩相当量 (g)
数値	8.7	555	1.00	1.03	115	9.4

② 食品構成(単位:g)

食品	穀類		いも及び でんぷん類	砂糖及び甘味類	豆類	種実類
	米類	小麦類(その他)				
数値	202.6	78.0	39.0	4.0	32.0	1.3
食品	野菜類		果実類	きのこ類	藻類	魚介類
	緑黄色野菜	その他野菜				
数値	128.9	208.3	107.6	19.3	2.7	68.1
食品	肉類	卵類	乳類	油脂類	菓子類	嗜好飲料類
数値	82.3	23.3	193.4	7.7	21.8	99.7
食品	調味料及び 香辛料類	調理加工 食品類	※日本食品標準成分表2020年版(八訂)登載に準ずる			
数値	436.5	12.0				

③ 食事時間と形態

食 事	時 間	形 態
朝 食	8 : 0 0	1週間のうち4回パン食・3回米飯
昼 食	1 2 : 0 0	1週間のうち6回米飯・1回麺類 行事食
おやつ	1 5 : 0 0	お菓子・お茶、パックジュース
夕 食	1 8 : 0 0	米飯
夜のお茶	2 0 : 0 0	温かい麦茶

④ 特別食・病態食

食 種	人 数	食 種	人 数
ミキサー食	3	一口大カット食	6
きざみとろみ食	3	糖尿病対応エネルギー制限減塩食	1
全粥きざみとろみ食	4	低ナトリウム血症対応増塩 きざみとろみ食	1

⑤ 行事食

月	行 事	献 立
4	誕 生 会	タコライス、コンソメスープ、マカロニサラダ、手作り抹茶ババロア
5	誕 生 会	チキンドリア、コンソメスープ、フレッシュサラダ、手作りマスカットゼリー
6	誕 生 会	ソースカツ丼、野菜汁、ほうれん草のしらす和え、赤肉クインシーメロン
7	七 夕	七夕そうめん、エビと夏野菜の炊き合わせ、七夕ゼリー
	誕 生 会	ロコモコ丼、コンソメスープ、シーフードサラダ、青肉メロン
8	納涼会	オムそば風、オニオンリング、フライドポテト、枝豆、スイカ
	誕 生 会	きのこのチキンドリア、卵スープ、ブロッコリーのツナサラダ、すいかゼリー
9	誕 生 会	ソースカツ丼、かきたま汁、青梗菜中華和え、マンゴー
1 0	松波の里まつり	ミニネギトロ丼、巻き寿司、天ぷら、卵豆腐蟹あんかけ、どら焼き(選択メニュー)
	誕 生 会	タコライス、コンソメスープ、水菜のサラダ、キウイフルーツ

	ハロウィン	ハロウィンパン、キャベツのクリーム煮、ミックスフルーツ、牛乳
1 1	誕生会	チキンドリア、ワカメと卵のスープ、ブロッコリーのサラダ、手作りマスカットゼリー
1 2	誕生会	卵とじかつ丼、具だくさん汁、キャベツ梅和え、オレンジ
	クリスマス忘年会	オープンサンド、コンソメスープ、エビフライ、ブロッコリーサラダ、手作りチョコババロア
1	七草	七草粥、いわしの蒲焼き、胡瓜漬け、ミルージュ
	新年会	海鮮ちらし寿司、すまし汁、天ぷら、胡麻和え、フルーツポンチ
	誕生会	ロコモコ丼、ジュリアンスープ、エビとキャベツのサラダ、手作りバニラババロア
2	節分	恵方巻寿司、豚汁、揚げだし豆腐、コーヒーゼリー
	誕生会	天丼、味噌汁、白菜の生姜和え、手作りマスカットゼリー
3	ひなまつり	ちらし寿司、すまし汁、蓮根のはさみ揚げ、菜の花の辛子和え、ソフトクレープ(バナナ)
	誕生会	ホタテとエビのドリア、ベーコン野菜スープ、大根と水菜のサラダ、手作り抹茶ババロア

6. 防災・防犯

6-1 災害防護訓練

訓練形態	回数
消防署員立ち合いによる夜間を想定した総合防災訓練（消火訓練）	1
火災時の避難訓練（・日中活動体制下2回 ・休日体制下1回 ・作業時間中1回） ◎消防署への通知1回含む ※	4
夜間を想定した火災時の避難訓練	2
早朝時を想定した火災時の避難訓練	1
地震時における避難訓練（日中活動中、家族緊急連絡・職員緊急連絡網訓練1回含む） ◎その後火災発生を想定 消火訓練を行う	2
水害想定における避難訓練（日中活動中） ◎その後消火訓練を行う	1
近隣施設「松風の里」との連携による火災時の避難・救助訓練	1
原子力災害時の避難訓練（緊急持ち出し品の搬出及び公用車への積載訓練）	1
計	13

※担架の使用方法の確認と救助訓練を避難訓練終了後に3回実施した。

6-2 防犯対策

- ・正面玄関センサーライト、ダミー防犯用カメラを設置。
- ・防犯上の備えとしてさすまたを設置。
- ・女性寮廊下窓、居室窓に目隠しシート使用。

7. 職員の配置状況（令和5年3月31日現在）

職 種	員 数	区 分				備 考
		常 勤		非 常 勤		
		専従	兼務	専従	兼務	
園 長	1	1				
サービス管理責任者	1	1				
支 援 員	19	14		5		介護福祉士1名
医 師（嘱託医）	3				3	内科・精神科・歯科
看 護 師	2	1		1		正看護師
栄 養 士	1	1				管理栄養士
事 務 員	1	1				

<職員動向>

- ・令和4年 4月 1日付で、支援員1名を採用
- ・令和4年 6月 1日付で、看護師1名を雇用
- ・令和4年 6月30日付で、看護師1名が退職
- ・令和4年 9月12日付で、臨時支援員1名雇用
- ・令和4年12月31日付で、支援課長1名が退職

8. 職員研修

1. 内部研修

① 法人研修（合同）

今年度は実施せず

② 法人内事業所研修

応急法講習 今年度は実施せず

③ 施設研修

年 月 日	内 容
令和4年 8月 5日	感染防止研修 (N95 マスク、不織布マスクの正しい付け方) ～厚生労働省 医療従事者向けフィットテストビデオ視聴～
令和4年 9月 6日	障がい者支援の基礎 ～虐待防止（実践編）～ 虐待防止のポイントの整理・実践的な虐待防止活動 ～サポーターズカレッジ視聴～
令和4年 4月 ～令和5年 3月	施設外研修報告会

2. 外部研修

年 月 日	内 容	参加者
令和4年 7月 3日	新潟県社会福祉協議会 介護職のアンガーマネジメント研修 ＜オンライン研修＞	1
令和4年 7月 8日	新潟県社会福祉協議会 より良い職場づくりのための業務改善研修 ＜新潟ユニゾンプラザ＞	1
令和4年 7月15日	新潟県社会福祉協議会 若手職員研修 ＜新潟ユニゾンプラザ＞	1
令和4年 8月 8日	新潟県社会福祉協議会 リーダーシップ研修 ＜オンライン研修＞	1
令和4年 8月 9日	新潟県社会福祉協議会 口腔ケア研修 ＜オンライン研修＞	1
令和4年 9月 7日 ～ 8日	新潟県 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】 ＜新潟市民プラザホール＞	1
令和4年 9月 9日	新潟県 サービス管理責任者更新研修 ＜オンライン研修＞	1
令和4年 9月18日 ～19日	新潟県 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】 ＜新潟県立看護大学＞	1
令和4年 9月23日 ～24日	新潟県 強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】 ＜新潟県立看護大学＞	1
令和4年10月21日	新潟県 サービス管理責任者更新研修 ＜オンライン研修＞	1
令和4年10月31日	サポーターズカレッジ 個別支援計画とケース記録 ＜オンライン研修＞	1
令和4年11月 7日	新潟県社会福祉協議会 ファシリテーション研修 ＜オンライン研修＞	1
令和4年12月 7日	新潟県社会福祉協議会 モチベーションアップ研修 ＜オンライン研修＞	1

年 月 日	内 容	参加者
令和4年12月7日	サポーターズカレッジ 個別支援計画とケース記録 ＜オンライン研修＞	1
令和4年12月14日	柏崎地域振興局 感染症対策研修会 新たな感染症と標準予防策 ＜オンライン研修＞	1
令和4年12月28日	サポーターズカレッジ 個別支援計画とケース記録 ＜オンライン研修＞	1
令和5年1月12日	サポーターズカレッジ 個別支援計画とケース記録 ＜オンライン研修＞	1
令和5年1月19日	サポーターズカレッジ 個別支援計画とケース記録 ＜オンライン研修＞	1
令和5年2月15日	新潟県障害者福祉協会 中越地区サビ管ネットワーク現任研修会 どうなる障害者総合支援法および児童福祉法の見直し ＜オンライン研修＞	1
令和5年2月17日	コロニーにいがた白岩の里全体研修会 「自分の暮らしを自分で決める」ための意思決定支援について ＜オンライン研修＞	1
令和5年3月1日	柏崎市社会福祉協議会 権利擁護に関する研修会 ＜柏崎市総合福祉センター＞	1
令和5年3月22日	新潟市地域振興局 障害者虐待防止権利擁護研修 ＜オンライン研修＞	1
計		22回 22名

柏崎刈羽地域自立支援協議会、新潟県知的障害者福祉協会等への職員派遣なし

9. ボランティアの受け入れ

名 称	回 数	人 数	内 容
刈羽村ボランティア友の会	3	11	雑巾縫い
刈羽ライオンズクラブ	1	8	草刈り
個人 女性1名	1	1	自宅にて雑巾縫い
計	5	20	

10. 視察・研修・慰問の受け入れ

【見学】

日 時：令和4年6月23日（木）

見学者：社会福祉法人 上越福社会 つどいの郷 支援員 1名

11. 実習の受け入れ

期 間	日 数	学校・学年・性別	種 類	人 数
令和4年 5月30日～6月10日	10日間	長岡こども・福祉カレッジ こども保育科 2年（女性）	保育実習Ⅰ （施設）	2
令和4年 7月19日～8月6日	12日間	国際こども・福祉カレッジ こども保育学科 2年（女性）	保育実習Ⅰ （施設）	1
令和4年 10月24日～11月5日	10日間	国際こども・福祉カレッジ こども福祉教育学科・こども未来教育 学科 2年（男性）	保育実習Ⅰ （施設）	1
計			3件	4名

12. 保護者会活動

施設運営に協力するため、8名の役員が、以下の活動を行った。

活 動	役員数	内 容
広 報	1	年2回の広報「まつなみ」の発行（5月・11月）
環境整備	1	令和4年 5月29日 奉仕の集い①（保護者 16名参加） 花壇整備、屋外の草取り
		令和4年10月15日 奉仕の集い②（保護者 10名参加） 花壇整備、屋外の草取り

13. 苦情相談

令和4年度に受け付けた苦情はなかった。

14. 事業計画等に対する評価

①利用者支援の取り組みについて

- ・コロナ禍での活動の制約があり、外出を伴う行事については代替案で実施するなど、柔軟な対応での起案を呼び掛け、日々の生活を潤いのあるものとなるように心掛けた。
- ・昨年度に引き続き業者に依頼し、移動デパート（おひさまデパート）を11月に開催した。店頭での試着やサイズ合わせが難しい利用者も、衣料品や靴等をゆっくり選んで購入してもらえ好評であった。園内でのパン販売も利用者から好評を得ており継続実施した。
- ・県内の新型コロナウイルス感染状況を把握し、日程調整を行いながら、日帰り旅行の実施ができた。行事が縮小されるなかで、利用者の希望が実現できる好機となった。
- ・利用者の高齢化、加齢に伴う身体機能の衰えや持病の悪化等から健康面への配慮として、看護師や栄養士と連携し支援にあたった。老朽化した生活環境に不安や不便を抱えるケースについては、環境面の工夫・改善を行った。今後も相談支援専門員と連携しながら希望に合うサービスの提供や環境整備に努めていく。
- ・中堅職員からの発案で「のびしろ会議」を毎月実施し、現場レベルでの気付きや意見交換により、円滑な職員間での連携や利用者支援の向上を図った。
- ・車いすのまま乗車できる福祉車両の導入により、通院の他に、自宅を訪問し高齢なご家族との面会の機会を確保できた。
- ・外出時や食事場面を中心に利用者自身で選択する（投票する）機会を選定し意思決定支援に繋げた。視覚支援として、写真、イラスト、時計等を用いながら、わかりやすい情報提供に努めた。

②医療との連携により生命が守られた支援

- ・障害特性により入院時の食事拒否から、生命維持が難しいと病院側から提示されたケースを、日帰り帰園を行い退院に繋げ、退院後も支援方法を適宜変更しながら食事摂取にまで辿り着き、現状はほぼ入院前の生活水準まで戻ることができている。

③感染症予防対策への取り組みについて

- ・施設内にて新型コロナワクチンの集団接種（利用者・職員）4回目（7月）、5回目オミクロン株（12月）を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染症等発生時対応マニュアルを適宜改訂した。
- ・感染症全般に関する基本的な知識や予防策に関する研修や感染者が発生した場合を想定した研修を施設内で実施した。
- ・3月に新型コロナウイルスの感染者が集団発生（利用者10名、職員1名）した際は、柏崎保健所や県の関係機関と連携を図りながら事態の収束にむけ、利用者の体調管理にあたった。

④施設入所及び生活介護の定員を50名から40名に変更するため、新潟県及び柏崎市と調整を行った。

⑤2か所の法人内事業所の新型コロナウイルス感染拡大時において、支援員1名を派遣し連携を図った。